

バントゥ諸語の名詞修飾節 —スワヒリ語とヘレロ語の例—
米田信子 (大阪大学)

1. はじめに

スワヒリ語にもヘレロ語にも「関係接辞 (Relative Marker, 以下 RM)」と呼ばれる接辞がある。RM は、いずれの言語においても主名詞が属する名詞クラス¹に呼応した形で現れ、RM によってマークされる節が「関係節」と呼ばれている。しかしながら「関係節」によって修飾できる名詞の範囲には2言語間に違いがあり、スワヒリ語では「内の関係」以外の名詞修飾にも「関係節」が用いられるのに対し、ヘレロ語では「内の関係」以外の名詞修飾には関係節以外の形が用いられる。本発表では、スワヒリ語とヘレロ語を例に、バントゥ諸語の名詞修飾節について、主名詞との意味関係、それぞれを表す形式、さらに名詞修飾節以外の従属節との関係を報告する。意味関係については、日本語の名詞修飾節に関する先行研究 (寺村 1975, 1977, 加藤 2003, 堀江・パルデシ 2009, 益岡 2010 他) を基に以下のように分類することにする。

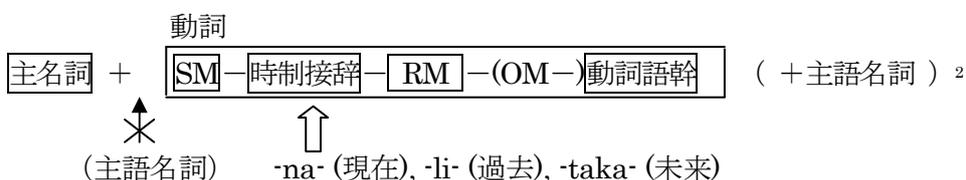
- 内の関係 : 修飾節と主名詞の間には格関係がある (関係節)
- 外の関係 : 内容補充関係 : 修飾節は主名詞の内容説明 (同格, 名詞補文)
相対的關係 : 修飾節と主名詞の間には因果関係など相対的な関係がある

2. スワヒリ語の名詞修飾

2.1. 「関係節」の構造

スワヒリ語には、主名詞に呼応した RM が動詞の内部に直接付加される「amba-less 関係節」と、主名詞の後ろに関係詞 *amba-* が挿入され、そこに RM が付加される「amba 関係節」という2種類の関係節がある。

● amba-less 関係節



¹ 名詞クラスとそれを基にした文法呼応のシステムはバントゥ諸語の特徴のひとつである。スワヒリ語の名詞は15種類の名詞クラス、ヘレロ語の名詞は18種類の名詞クラスに分かれている。グロス中の数字はその名詞のクラス番号あるいは呼応している名詞のクラス番号を表す。

² 略語 1sg: 一人称単数, 1pl: 一人称複数, APL: 適用形, BF: 基本語尾, COMP: 動詞補文標識, COP: 繫辞, FUT: 未来時制接辞, LOC: 場所, INF: 不定形接頭辞, NEG: 否定, NPF: 非完了語尾, OM: 目的語接辞, PASS: 受身形, PAST: 過去時制接辞, PERF: 完了時制接辞, PF: 完了語尾, PRES: 現在時制接辞, PROG: 現在進行, RM: 関係接辞, SM: 主語接辞, 属: 属辞。

- (1) mwalimu a-li-ye-nunu-a kitabu 「本を買った先生」
先生1 SM1-PAST-1RM-買う-BF 本7
- (2) kitabu a-li-cho-(ki-)nunu-a mwalimu 「先生が買った本」
本7 SM1-PAST-RM7-(OM7)-買う-BF 先生1

amba-less 関係節には以下のような制限がある。

- ①時制接辞は *-na-* (現在), *-li-* (過去), *-taka-* (未来)に限られる。
②否定主語接辞は使えない。
③主名詞の直後に動詞を続けなければならない。⇒ 基本語順 SVO を保てない。

● amba 関係節

動詞

主名詞 + amba-RM + (主語名詞+) SM—時制接辞—(OM—)動詞語幹

- (3) mwalimu **amba-ye** a-li-nunu-a kitabu 「本を買った先生」
先生1 amba-RM1 SM1-PAST-買う-BF 本7
- (4) kitabu **amba-cho** mwalimu a-li-ki-nunu-a 「先生が買った本」
本7 amba-RM7 先生1 SM1-PAST-OM9-買う-BF

2.2. 内の関係

(1)~(4)が示すようにどちらの修飾節を用いることもできる。ただし(5)~(7)のように上記①②の制限によって amba-less 関係節が使えない場合や③の制限によって文法関係が曖昧になる場合には amba 関係節のみ用いられる。

(5) 「ひび割れているコップ」

- a. *kikombe ki-me-cho-pasuk-a
コップ7 SM7-PERF-RM7-裂ける-BF
- b. kikombe **amba-cho** ki-me-pasuk-a
コップ7 amba-RM7 SM7-PERF-裂ける-BF

(6) 「明日私が使わない道具」

- a. *chombo si-taka-**cho**-tumi-a kesho
道具7 NEGSM1sg-FUT-RM7-使う-BF 明日9
- b. chombo **amba-cho** si-taka-tumi-a kesho
道具7 amba-RM7 NEGSM1sg-FUT-使う-BF 明日9

(7) 「客が料理を作ってあげた学生」

- a. #mwanafunzi a-li-ye-m-pik-i-a mgeni.
学生1 SM1-PAST-RM1-OM1-料理する-APL-BF 客1

「客のために料理してあげた学生／? 客が料理を作ってあげた学生」

- b. *mwanafunzi mgeni a-li-ye-m-pik-i-a.
 学生1 客1 SM1-PAST-RM1-OM1-料理する-APL-BF
- c. mwanafunzi **amba-ye** mgeni a-li-m-pik-i-a.
 学生1 amba-RM1 客1 SM1-PAST-RM1-OM1-料理する-APL-BF

2.3. 内容補充の関係

どちらの関係節を用いることも可能だが、主語名詞がある場合には **amba-less** 関係節の容認度が下がる。特に(10)のように文法関係が紛らわしい場合は容認されない。

(8) 「彼らがゲームに負けた（という）結果」

- a. matokeo wa-li-**yo**-shindw-a katika mchezo
 結果6 SM3pl-PAST-RM6-負ける-BF 中 ゲーム3
- b. matokeo **amba-ye** wa-li-shindw-a katika mchezo
 結果6 amba-RM6 SM3pl-PAST-負ける-BF 中 ゲーム3

(9) 「ウサギが競争に負けた（という）物語」

- a. ?hadithi a-li-**yo**-shindw-a sungura katika mashindano
 物語9 SM1-PAST-RM9-負ける-BF ウサギ1 中 競争6
- b. hadithi **amba-ye** sungura a-li-shindw-a katika mashindano
 物語9 amba-RM9 ウサギ1 SM1-PAST-負ける-BF 中 競争6

(10) 「木がしゃべる（という）物語」

- a. *hadithi u-na-**yo**-zungumz-a mti
 物語9 SM3-PRES-9RM-話す-BF 木3
- b. hadithi **amba-ye** mti u-na-zungumz-a
 物語9 amba-RM9 木3 SM3-PRES-話す-BF

2.4. 相対的關係（因果関係）

amba-less 関係節は使えない。**amba** 関係節は、因果関係が明確であれば用いられる。

(11) 「多くの人が亡くなった病気」

- a. *ugonjwa wa-li-**o**-kuf-a watu wengi
 病気11 SM2-PAST-RM11-死ぬ-BF 人々2 多くの2
- b. ugonjwa **amba-o** watu wengi wa-li-kuf-a
 病気11 amba-RM11 人々2 多くの2 SM2-PAST-死ぬ-BF

(12) 「私が車を売ったお金」

- a. *pesa ni-li-**zo**-uz-a motokaa
 お金10 SM1sg-PAST-RM10-売る-BF 車9
- b. pesa **amba-ye** ni-li-uz-a motokaa
 お金10 amba-RM10 SM1sg-PAST-売る-BF 車9

(13) 「肉が焼かれる匂い」

- a. * harufu i-na-**yo**-chom-w-a nyama
 匂い9 SM9-PRES-RM9-焼く-PASS-BF 肉9
- b. harufu **amba-yo** nyama i-na-chom-w-a
 匂い9 amba-RM9 肉9 SM9-PRES-焼く-PASS-BF

2.5. スワヒリ語における名詞修飾節の形式と意味関係

	amba-less 関係節	amba 関係節
内の関係	◎	○
内容補充関係	△	◎
相対的關係	×	○

内容補充関係については, amba-less 関係節を用いることができるケースは限られており, 基本的には amba 関係節が用いられる。したがって amba-less 関係節の“守備範囲”の中心は内の関係の名詞である。一方 amba 関係節は, 格関係や内容補充の関係になくても, 相対的關係を明確に示すことができる名詞であれば, 修飾することができる。ただし内の関係では(①~③の制限がない場合には) amba-less 関係節が優先的に用いられる。RM が付いていることでどちらも「関係節」と呼ばれているが, いわゆる「関係節」と言えるのは amba-less 関係節のほうで, amba 関係節は, 「関係節」よりも広い範囲の名詞を修飾する節である。amba 関係節は主名詞を省略できないことから「*amba*-RM」は関係節の標識というよりもむしろ名詞と修飾節をつなぐ接続詞的な機能をしていると思われる。

(14) 「私たちの先生は昨日到着した(人)だ。」

- a. Mwalimu wetu ni a-li-**ye**-fik-a hapa jana.
 先生1 我々の1 COP SM1-PAST-RM1-着く-BF ここ 昨日
- b. *Mwalimu wetu ni **amba-ye** a-li-fik-a hapa jana.
 先生1 我々の1 COP amba-RM1 SM1-PAST-着く-BF ここ 昨日

3. ヘレロ語

3.1. 関係節の構造



- (15) omítiri **ndjí** a-rand-éré embo 「本を買った先生」
 先生9 RM9 SM3sg/PAST-買う-PF 本5
- (16) embo omítiri **ndí** a-rand-éré 「先生が買った本」
 本5 先生9 RM5 SM3sg/PAST-買う-PF

ヘレロ語では、主語名詞を RM の前に置くことができる。したがって基本語順 SVO を保つことができる。

3.2. 内の関係

- (17) ómúvére mamá **ngu** wé-mu-zík-ír-é oruhéré
 病人1 母1 RM1 SM1/PAST-OM1-APL-PF 練り粥11
 「母が練り粥を作ってあげた病人」
- (18) ópéna **ndjí** mbí-tjáng-a na-yó ombápíra arúhe
 ペン9 RM9 SM1sg-書く-BF with-RM5 手紙9 いつも
 「私がいつも手紙を書く（ために使う）ペン」

3.3. 内容補充の関係

(19a), (20a)が関係節。容認度にはユレがあるが、いずれにしても不自然である。通常は、(19b,c), (20b,c)のように動詞 *-tja* 「言う」の不定形 (*o*)*kutja* が用いられる。

- (19) 「私たちが3時に会う（という）約束」
- a. ?óngwízíkiró **ndjí** má-tú-hakáén-é pondátú
 約束9 RM9 PROG-SM1pl-会う-NPF 3時に
- b. óngwízíkiró *kutja* má-tú-hakáén-é pondátú
 約束9 kutja PROG-SM1pl-会う-NPF 3時に
- c. óngwízíkiró *yokútja* má-tú-hakáén-é pondátú
 約束9 属9/okutja PROG-SM1pl-会う-NPF 3時に
- (20) 「ジャッカルがハイエナを殺した（という）話」
- a. ??ésérékárérwa ombándje **ndí** ya-zép-a ombungu.
 話5 ジャッカル9 RM5 SM9/PAST-殺す-BF ハイエナ9
- b. ésérékárérwa *kutja* ombándje ya-zép-a ombúngu.
 話5 kutja ジャッカル9 SM9/PAST-殺す-BF ハイエナ9
- c. ésérékárérwa *rokútja* ombándje ya-zép-a ombúngu.
 話5 属5/okutja ジャッカル9 SM9/PAST-殺す-BF ハイエナ9

kutja は(21)のように動詞補文の標識としても用いられる。

- (21) 「私は私たちが木から落ちたことを彼女に話した。」
- Ami mbé-mu-sérékárér-e *kútja* ete twa-wá kómutí.
 私 SM1sg/PAST-OM3sg-話す-NPF COMP 私たち SM1pl/PAST-落ちる/NPF LOC/木3
- cf. (22) 「私たちが木から落ちた（という）話」
- a. ésérékárérwa *kutja* ete twa-wá kómutí.
 話5 kutja 私たち SM1pl/PAST-落ちる/NPF LOC/木3

- b. *ésérékárérwa rokútja* *eṭe* *twa-wá* *kómutí.*
 話 5 属 5/okutja 私たち SM1pl/PAST-落ちる/NPF LOC/木 3

3.4. 相対的關係（因果關係）

關係節を用いることはできない。ここでも内容補充の關係で用いられた(*o*)*kutja* が用いられる。*kutja* は「属辞+*okutja*」に比べると容認度が低いが、間違いではない。

(23) 「試合に負けた理由」

- a. **epu ndí twá-taárw-á enyándó*
 理由 5 RM5 SM1pl/PAST-負ける-NPF 試合 5
- b. ?*epu kutja twá-taárw-á enyándó*
 理由 5 *kutja* SM1pl/PAST-負ける-NPF 試合 5
- c. *epú rokútja twá-taárw-á enyándó*
 理由 5 属 5/okutja SM1pl/PAST-負ける-NPF 試合 5

(24) 「マリアが人々をだました罰」

- a. **ómbérero María ndji wá-tjít-í ovineyá kovandu.*
 罰 9 マリア RM9 SM3sg/PAST-する-NPF ごまかし ~に/人々2
- b. (?)*ómbérero kutja María wá-tjít-í ovineyá kovandu.*
 罰 9 *kutja* マリア SM3sg/PAST-する-NPF ごまかし ~に/人々2
- c. *ómbérero yokútja María wá-tjít-í ovineyá kovandu.*
 罰 9 属 9/okutja マリア SM3sg/PAST-する-NPF ごまかし ~に/人々2

(25) 「肉が焼けているにおい」

- a. **ómúnúko onyáma mbi ma-i-tét-á*
 匂い 3 肉 9 RM3 PROG-SM9-焼ける-NPF
- b. *ómúnúko kutja onyáma ma-i-tét-á*
 匂い 3 *kutja* 肉 9 PROG-SM9-焼ける-NPF
- c. *ómúnúko wokutja onyáma ma-i-tét-á*
 匂い 3 属 3/okutja 肉 9 PROG-SM9-焼ける-NPF

3.5. ヘレ口語における名詞修飾節の形式と意味關係

	關係節	<i>kutja</i>	属辞+ <i>okutja</i>
内の關係	◎	×	×
内容補充關係	△	◎	○
相対的關係	×	○	◎
動詞補文	×	◎	×

主名詞と修飾節との意味關係によって、用いられる名詞修飾節の形式が区別されている。

4. 他の従属節標識との関係

●ヘレロ語

内容補充の関係にある名詞を修飾するときに用いられる *kutja* が動詞補文の標識としても用いられるが、さらに *kutja* は以下のような複文の中で接続詞としても用いられる。

(26) Ovihávéro ka-vi-ya-ningen-a *kutja* má-ku-rok-o
 椅子 8 NEG-SM8-NEG-濡れる-BF *kutja* PROG-SM17-降る-NPF

「雨が降っているが、椅子は濡れていない。」

(27) Eye wá-zik-í orúheré *kutja* ovanatje vé-ry-e.
 彼女 3sgSM/PAST-料理する-NPF 練粥 *kutja* 子ども 2 SM2-食べる-NPF

「彼女は子どもたちが食べられるように練粥を作った。」

(28) étúwó rí-nondóv-a (ó)*kútja* mó-so oku-kóhóror-a
 部屋 5 SM5-汚い-BF *kutja* PROG/SM2sg-しなければならない INF-掃除する-BF

「部屋が汚れているから君は掃除をしなければならない。」

(Möhlig & Kavari (2008)では(28)も *kutja*)

名詞修飾節は、主名詞との関係によって形式が区別されているが、上記の副詞節では、従属節と主節との関係が異なっても同じ標識が用いられている。解釈は文脈あるいは従属節の活用形に依存する。

●スワヒリ語

スワヒリ語では、動詞補文と内容補充関係の名詞修飾節とでは異なる標識が用いられる。しかしながら動詞補文と内容補充関係の名詞修飾節との間に連続性は見られる。

(29) 「最後の絵はそこそこの絵になるだろうという期待を僕は持っている。」

a. Ni-na matumaini *kwamba* mchoro wa mwisho
 SM1sg-随伴 期待 6 COMP 絵 3 属 3 最後 3
 u-ta-kuw-a wa wastani. (*Mwana Mdogo wa Mfalme* p23)
 SM3-FUT-なる-BF 属 3 平均的

b. Ni-na matumaini *amba-yo* mchoro wa mwisho
 SM1sg-随伴 期待 6 amba-RM6 絵 3 属 3 最後 3
 u-ta-kuw-a wa wastani.
 SM3-FUT-なる-BF 属 3 平均的

(30) 「最後の絵はそこそこの絵になるだろうと僕は期待している。」

a. Ni-na-tumaini *kwamba* mchoro wa mwisho utakuwa wa wastani.
 SM1sg-PRES-期待する COMP 絵 3 属 3 最後 3 そこそこの絵になるだろう

b. *Ni-na-tumaini *amba-yo* mchoro wa mwisho utakuwa wa wastani.
 SM1sg-PRES-期待する amba-RM6 絵 3 属 3 最後 3 そこそこの絵になるだろう

(29)の *matumaini* 「期待」 ような動詞から派生した名詞 (< *-tumaini* 「期待する」) を修飾する場合に限られるが、動詞補文に用いられる *kwamba* を用いて修飾されることもある。

cf. (31) 「これは木が話をするという物語です。」

- a. *Hii ni hadithi **kwamba** mti u-na-zungumz-a.
 これ9 COP 物語9 COMP 木3 SM3-PRES-話す-BF
- b. Hii ni hadithi **amba-yo** mti u-na-zungumz-a.
 これ9 COP 物語9 amba-RM9 木3 SM3-PRES-話す-BF

	amba-less 関係節	amba 関係節	kwamba
内の関係	◎	○	×
内容補充	△	◎	△
相対関係	×	○	×
動詞補文	×	×	◎

5. 終わりに

アフリカ大陸赤道以南で広く話されているバントゥ諸語は、分布が広範囲であるにも拘らず類似性が高い。東アフリカで話されているスワヒリ語と南部アフリカで話されているヘレロ語の関係節を見ても、その構造は極めてよく似ている。しかしながら、それらが修飾できる名詞の範囲には違いがあり、また「内の関係」以外の名詞を修飾する名詞修飾節の形式にも違いが見られた。「関係的意味を明示する英語のような言語 vs. 関係的意味を明示しない日本語のような言語」(益岡 2010) に照らし合わせれば、バントゥ諸語には、スワヒリ語のように両方の形式の名詞修飾節を持ち合わせている言語もあり、またヘレロ語のように関係的意味によって名詞修飾節の形式が使い分けられる一方で多機能に用いられる(すなわち関係を明示しない) 接続詞を有する言語もある。

参考文献

- Ashton, E. O. (1947) *Swahili Grammar*. (2nd edition), Essex: Longman.
- 加藤重広(2003)『日本語修飾構造の語用論的研究』東京：ひつじ書房。
- 寺村秀夫 (1975)「連体修飾のシンタクスと意味—その 1—」『日本語・日本文化』4, 71-119.
- 寺村秀夫 (1977)「連体修飾のシンタクスと意味—その 3—」『日本語・日本文化』6, 1-35.
- 堀江薫・パルデン, プラシヤント (2009)『言語のタイポロジー』東京：研究社。
- 益岡隆志 (2010)「連体節構文における関係的意味」*KLS Proceedings* 30, 316-326.
- Möhlig, W.J.G.& J.U. Kavari 2008. *Reference Grammar of Herero*. Köln:Rüdiger Köppe Verlag.
- 米田信子(印刷中) 「スワヒリ語における 2 種類の関係節」 *Clavel* 2.